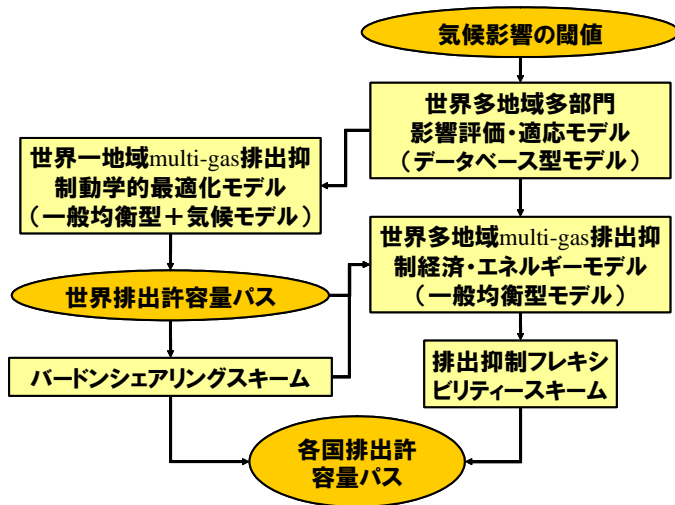
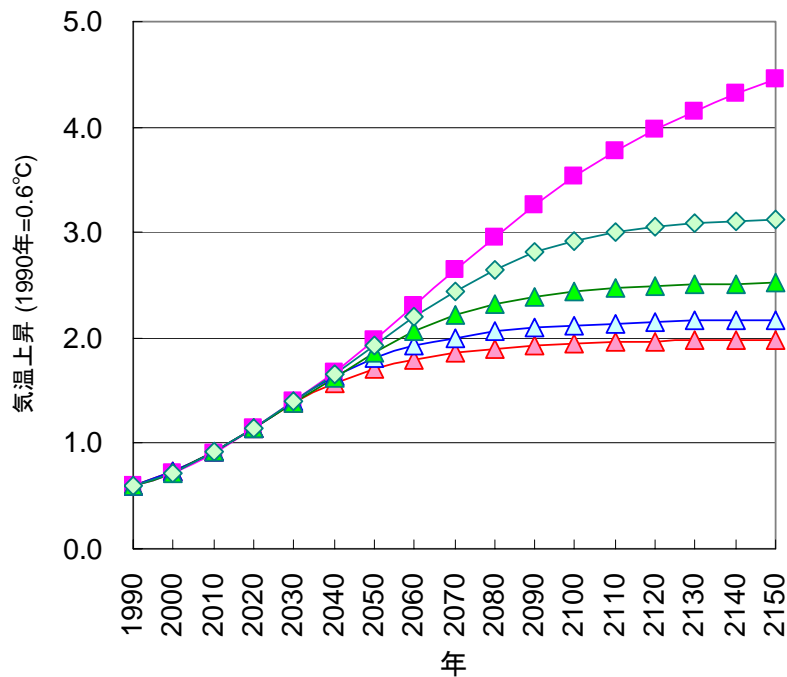


に下回る水準に抑える必要がある。例えば、AIMモデルによる試算では約475ppm(注1、2及び3)の水準が必要とされた(図6.1、図6.2参照)



AIMモデル(AIM/Impact[Policy])は、全球平均気温・海面上昇、大気中GHG濃度等に関して将来目標を設定し、その目標下で最適なGHG排出経路(世界全体)とそれに基づく地域別排出削減分担量を推計する。さらに、同GHG排出経路を前提とした場合の国別・分野別温暖化影響(物理的影響・経済影響)を推計する。

図 6.1 AIMモデル(AIM/Impact[Policy])の特徴



(気候感度 2.6 度、割引率4%)

■ BaU    ▲ GHG-475ppm    ▲ GHG-500ppm    ▲ GHG-550ppm    ◆ GHG-650ppm

図 6.2 AIMモデルによる安定化濃度と気温上昇の関係についての試算結果